

川とふるさとの再生、市民協働による多摩川ライフの創造 — 「川崎市多摩川プラン」の推進 —

< 多摩川をみんなのものに！

市民の思いをこめて「川崎市多摩川プラン」を策定しました >

川崎市は、川崎市新総合計画「川崎再生フロンティアプラン」に基づき、今年の3月に「川崎市多摩川プラン」を策定しました。「川崎市多摩川プラン」は、公募市民、市民団体、利用者団体などから構成された「川崎市多摩川プラン策定市民会議」と有識者も含めた「川崎市多摩川プラン策定委員会」での討議だけではなく、参加型調査の実施や、多様な場での討議を経て策定され、多摩川に対する市民の期待や思いがたくさんつまっています。川崎市では、そうした期待に応えられるよう、「川崎市多摩川プラン」の実現に向けて、全力で取り組んでいきます。

● 「川崎市多摩川プラン」とはなんだろう！

「川崎市多摩川プラン」は、多摩川に関する総合的な施策を実現するための実行計画で、その実効性を担保するため、市民・企業・行政の協働による推進体制や、それぞれの役割を明確にし、期間を定めて実施していきます。

【計画体系】

◎基本理念 「川とふるさとの再生、市民協働による多摩川ライフの創造」

◎『理解』・『整備』・『保全』という3つの基本的視点

◎7つの「基本目標」、30の「施策の方向性」、55の「推進施策」

◎3つの「リーディングプロジェクト」、6地域の「重点エリア」

リーディングプロジェクトとは、優先的・重点的に実施していく波及効果により、目標の早期実現を目指すために展開するプロジェクトです。また、重点エリアとは、交通至便な6地域を重点エリアとして整備するものです。

● 「川崎市多摩川プラン」を推進するために！

川崎市では、「川崎市多摩川プラン」に基づき、4月からリーディングプロジェクトの推進、重点エリアの整備に取り組んでいます。

また、協働による「川崎市多摩川プラン」の推進方策として、学識者、公募市民、NPO、国などから構成する「川崎市多摩川プラン推進会議」を設立し、第1回会議を7月17日に開催しました。これは、「川崎市多摩川プラン策定委員会」及び「川崎市多摩川プラン策定市民会議」からの発展的組織として位置づけられるもので、「川崎市多摩川プラン」に示された各施策の進行管理と評価、「川崎市多摩川プラン」推進にあたっての課題整理などについて検討する組織です。会議での意見をもとに、今後の施策展開を図っていきます。

また、重点エリアの整備をはじめ、各区における事業実施については、区役所と連携を図りながら進めていきます。



第1回川崎市多摩川プラン推進会議

● 川崎市が今年度に取り組むことは！

今年度から順次、「川崎市多摩川プラン」に示された施策を進めています。

【主な施策】

◎「川崎市多摩川プラン推進会議」の設置と運営

◎「重点エリア2 二子橋周辺エリア」の駐車場拡充

◎「重点エリア5 幸区船着場周辺エリア」の眺望公園の整備

◎「多摩川エコミュージアムプラン」の趣旨に沿った市民活動の支援

◎大師河原地区河川防災ステーション水防センターの協働運営

◎アユの経年観察・調査

◎「河原マップ」の作成

◎渡し場復活イベントの開催

◎渡し場跡の碑等の整備



ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/30/30tamasu/home/tamagawa/tama-index.htm>